

第8回鹿野地域振興会議議事概要

日 時：平成31年2月21日（木） 午後3時00分～午後5時00分

場 所：鹿野町総合支所2階 会議室

【出席委員】

山田薫、小川義和、山本章、筒井洋平、田中文子、向井健太郎、伊井照幸、砂川重雄、佐々木千代子、池原美穂 以上10名出席（敬称略）

【欠席委員】

山下直司、兼平恵（敬称略）

【事務局】

徳岡支所長、乾副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、岡田産業建設課長、上野市民福祉課長、三谷地域振興課長補佐

【観光戦略課】

川口係長

【傍聴者】

なし

【日 程】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告

（1）行事予定（資料ダウンロード）

（2）2月19日開催の地域振興会議会長会報告について（資料ダウンロード）

4 議題

（1）公共交通（気高循環バス）について

(2) 鳥取西道路開通観光キャンペーンについて (資料ダウンロード)

5 その他

(1) 委員質問 (資料ダウンロード)

- ① バイオセンターの活用について
- ② 保健センターの活用について
- ③ 光速通信網の拡張状況及び通信社への要請について

○次回開催日 4月23日(木) 13:30～

6 閉会

◎議事概要

報告事項

(1) 経過報告

事務局より資料1に基づき説明

【委員】今後予定の鳥の劇場での公演「葵上/班女/熊野/綾の鼓」で山紫苑に宿泊プラン50組と聞いたがどういう内容か。

【委員】公演を見るのに1作品あたり1,500円（大人）いるが午後2時頃から3つ程公演を見る。その日の組み合わせで食事や温泉に入ってから夜9時からまた公演を見るということで、山紫苑に泊まる1泊2食の宿泊料が1万円という内容のようだ。

【事務局】鳥取空港にも大きな看板が設置されており、今回は、幕の内弁当などもあります。

【委員】高い弁当だが人気があり、「好評で申し込みが殺到している」と聞いている。どういう取り組みであったかなど町内の人も情報をもらい関心を深めることが大事だと思う。

【委員】鳥取市鹿野町収蔵品展の件だが、提案した友が3年かかったが非常に喜んでいる。まだ収蔵品を持っているので展示に余裕があれば名前を伏せていくだけでも協力すると言っていた。

【委員】往来交流館（ドリーム）の件だが、食後のコーヒーが100円から300円になっていた。民間企業だから仕方がないのもあるがいったん200円も値上げしている。

【委員】ドリームも先日ある美容室に張ってあるチラシでは「食事処」が目立っていて、往来交流館（ドリーム）の表記が小さい字で表示されている。それも狙いなのかもしれないが、もっと町内に広く広告を入れられた方がよいのではないかと思った。

【委員】メニューも増えて、カレー500円、鶏井ぶりも600円と相場も庶民的で味も良い。一人で作っているのでも少し時間はかかっているがどんどん利用して欲しい。

【委員】鹿野は食べる場所がないと言われているので広く宣伝した方が良い。

(2) 2月19日開催の地域振興会議会長会報告について

会長より資料2に基づき説明

【委員】鹿野の名所の城跡公園のことで、海外から英語でのメールの問い合わせがあった。HPでももう少し海外向けの内容を作成して欲しい。浜村駅からの案内を英語表記で充実させてもらえると良い。

議題

(1) 公共交通(気高循環バス)について

事務局より説明

【事務局】前回の地域振興会議での説明から少し変更がありました。平成31年4月1日から気高循環バスは、2台体制に変更になるように説明していましたが、平成31年9月末日までは現行どおり3台体制でダイヤの変更もなく運行できるということになりました。その後については現在検討中です。

【委員】それまでに色々検討して事前に何かあるのか。

【事務局】情報がまとまり次第今後についても時期をとらえて検討という形になります。前回2台体制の件で、小学校の通学時間帯が現状にそぐわないこともありましたので、その問題も念頭におきながら今後進めていきたいと思います。鹿野地域でも住民運営の取り組みの可能性を引き続き検討していきたいと思います。

(2) 鳥取西道路開通観光キャンペーンについて

観光戦略課より資料3に基づき説明

【委員】周辺のキャンペーンについては進めていただければ良いが、道の駅の構造そのものについて質問したい。既に計画も進められて現在工事中ではあるが、ひとつだけ滞っている案件がある。それは鳥取道にガソリンスタンドが一つもないという事だ。計画にも入っていたが、現在ガソリンスタンドを受ける人がいないということで頓挫している。内情を聞いてみると現在の敷地が狭すぎるのではないかということがある。我々が見ても大型トラックが乗り入れ出来ないと乗用車だけでは営業が成り立たない。あの敷地の広さで良かったのかという疑問があり、今更広げることも困難であるし、構造を見ても車の乗り入れが自由にしやすいことができる構造になるべきであるが、今向かっている工事は完全に遮断してある。道路と歩道を分離するブロックが高い構造に仕上がっており、車の侵入が一切できないような構造になっている。計画にあったガソリンスタンドはあきらめてしまったのかという風に見えるのだが、市からのそういう説明もないし、地元

がみんな不思議がっている。この先どうなっていくのか疑問に思っている。そのあたりを慎重に検討していただきたいと思っている。

【委員】ガソリンスタンドはこの道の駅の売りであった。

【委員】ただ、候補者がいないということは聞いている。

【委員】今浜村は何件ガソリンスタンドがあるのか。

【委員】国道沿いに浜本石油と農協さんが宝木と上光で2か所、青谷にもある。

【事務局】ガソリンスタンドは道の駅の魅力の目玉で、今現在予定どおり鳥取市は開設に向かって動いていますし、最新情報が分かりましたらまたお知らせします。

【委員】一番の課題となると思うが、道の駅で降りてすぐ帰られるようではいけないので、いかに鹿野に来てもらうか会議の中でも話が出る。妻はおもしろ市の会員となっているが、道の駅が出来ておもしろ市はどうなるのかが心配で、会員の中でも解散にでもならないかと話題となっているようだ。執行部も危惧している。おもしろ市は、小規模の高齢者が商品を持ち込んでおり、それでも年間7千万円くらいである。道の駅が出来ておもしろ市がなくなるか、おもしろ市が道の駅に出てしまうのかとかそんな話は出ていないか。

【事務局】道の駅の運営会社の鳥取西いなばまちづくり株式会社は、出荷者の募集を行っており、新規開拓者も募集しています。先日のおもしろ市の総会でもこの後真剣、慎重に検討してみるという事でした。

【委員】基本におもしろ市は、道の駅にも支店のような感じで両方に店は必要だと思う。ここだけで終わってはいけない。歳をとって出荷が出来ない人もおられるので、集めてくれると出荷もOKだよという人もいると思う。そういうルートを作り集められれば品物も増える。道の駅には食べる場所もあるわけだからそば道場にもそれは言えることだと思う。

【事務局】現状では生産量自体はあまり変わることはありませんから、少しでも出荷してみようかという関心のある人をいかに作っていくかということが大事になってきます。

【委員】出店した場合とられる手数料は何%なのか。おもしろ市は15%だ。

【委員】たいがい手数料は15%だが、20%はとられる。

【委員】20%も取られたら店に出す人がいなくなるではないか。

【委員】 そうでもない。皆さんが手数料をどう捉えるかにもよるが、自分で売るといふ事になるととっても大変である。それが一番大変だから問屋に頼むのが簡単なのである。手数料は数量と品質に合わせて即振り込まれてくる。それを人に委ねるといふのは今の時代普通で15%から20%は当たり前である。ネットの時代なのだ。もうあと3年程経ったら道の駅も現金を持たないでカードで買える時代になってくると思う。いったん火が付いたら時代は早い。先程の〇〇委員の話で感銘し同調したのだが、歳をとってくると事故も怖いので車の免許を返上する人も出てくる。それで作るのは願ひする。あと売の方は任したというようにどこかが主体性を持ってやるべきであると思う。道の駅あたりがそれをするかといふのは、話し合いをするべきだと思う。ネットでも維持費が必要なのでそれくらいは当たり前だと思う。

【委員】 道の駅も規模が大きくなってくると中部からでもどっさりと野菜や果物が入ってくるが、おもしろ市に出荷している人は小規模で月5千円ほど入ってくれば良い感じで、100円だして85円しか貰わない。15%も取られてといふことになり兼ねないと思う。

【委員】 人に頼んで売ってもらうのだから15%とられても利益が入ってくればよしとして、売る労力を考えれば極端な話ほっといても5%でも10%でも利益が入ってくればよしという考え方である。売る労力の方が大変だと思う。

【委員】 ドイツの有名な会社でさえも利益は8%から9%程度である。例えば100円で15円引かれるといわれるが、大量生産でもその程度なのだ。自分の健康のために作ってプラスになる考えで、地域が生き残るには知恵を絞ってまちづくりに生かしていくのが本当の考え方であり、大きな産地には勝てない。小さいところは皆の総意で頑張っていくしかないのだ。それが少子高齢化で社会を生き抜く一つの方法だと思う。

【委員】 売る側にも費用といふのが掛かってくる。15%とられるといふ考えではなしに、その部分を委ねるといふ考えでいけばよい。それが納得できなければ納得いく価格にすればいいと思う。

【委員】 いい品物を作らないとお客様は買ってくれないので課題はある。庭先みたいところで売るといふのだから作る方の甘えもあると思う。道の駅などに持っていくと見劣りする品物は誰も買わない。生産者も技術を上げる必要があり太刀打ち

できるものを作らないといけない。

【委員】今は産地間競争なのだ。例えば岩美の道の駅でも鳥取市からも行く人はあるし、珍しいから気高の道の駅も行ってみようと天秤にかけられるわけだ。そこで耐えうる商品でないとだめなのである。生産者の技術を上げないといけない。なかなか特徴のあるものが作れないのが悩みである。

【事務局】現在、高速が開通するのが夏頃までと報道されています。それから道の駅のオープンが6月1日という話が出ましたが、キャンペーンとは別にオープン直前にプレオープンイベントが検討されております。実行委員会では、距離も長いこともあり鳥取市全体のイベントは吉岡インターを中心に考えておりますが、西の方でも開催したい声が上がっております。月曜日（25日）に西商工会、まちづくり会社、往来交流館と総合支所が集まって協議をするということにしております。時間的にゆとりはありませんが西地域も何かをすることが出来るような動きが出ております。

【委員】宿泊キャンペーンでプレゼントの企画があるが、以前に宿泊を安くする企画があったが、プレゼントよりそっちの方がお客はくるのではないか。

【観光戦略課】手法は色々ありますが、特産品のPRと併せてしたいということがあります。

【委員】スタンプラリーとかのプレゼントは何となく分かる。予算のこともあるとは思いますが、宿泊の方でのプレゼントというより宿泊が安くなる方が行く気になるような気がする。

【観光戦略課】西地域だけでは宿泊施設の数が少ないので市街地も視野に入れ、キャンペーンにあわせて西地域の特産品をPRされた方が良い考えです。

【委員】対象の宿を西地域だけに絞ってすればいいのではないか。

【観光戦略課】西地域だけに絞ると数がどうしても少なくなり、吉岡温泉のエリアとか市街地インターの方も含めて県外に打って出ることが大切であると考えます。

その他

（1）委員質問

① バイオセンターの活用について

【事務局】旧バイオセンターは、NPO団体に無償貸し付けしています。現在そ

ばがらを菌床とした実験をされており、ようやくヒラタケが成功し、5月には販売を開始する見込みと伺っています。また、ササクレヒトヨダケという品種も成功し、これは胞子を活用してキノコ染、キノコ墨汁、キノコインクなどをつくり因州和紙とコラボでレターセットなどができないか研究をしておられます。

手前のガラスハウスに関しては、フナ等の魚を飼育し、そのふん等を水菜などの栽培に利用するアクアポニクスという技術を実験しておられます。ゴミが多くでていることについては、ガラスハウス内にあった物を表にだしたもので、処分に苦慮していらっしゃるようです。

【委員】施設が勿体ないので是非とも有効活用をして欲しい。

② 保健センターの活用について

【事務局】平成29年度の利用状況ですが、年間の利用としましては、栄養指導室が利用日数113日の利用者数1,173人で介助サービスの方で主に利用されています。研修室（洋室）は利用日数60日の利用者数822人で町内の情報マチカフェなどに利用してもらっています。健康指導室（和室）はストレッチ教室に利用していただいています。

平成30年6月、財産経営課による市の所有する低未利用施設についての民間提案制度の対象施設（5施設）に登録し、提案を募集しましたが、結果、保健センターについて1提案ありましたが不採用となりました。今後貸付ける際の金額のあり方なども検討し、新めて募集していく予定です。

その他河内生活改善センターですが、地元もそれぞれ公民館も持っていることもあり利用が減少しています。集会所という目的を兼ねて利用していただいていたが、このほど広く民間に利用してもらおうようにしていこうと廃止する計画です。

【委員】まちづくり協議会でシェアハウスとかどうか。

【委員】改修工事で大工さんがいればいいと思う。

【事務局】それから2月の市議会に関してもう一つ報告があります。今市の共同浴場も市の施設ではなくなります。今市温泉集会所管理組合に無償でお譲りし管理していただくよう計画しています。

③ 光速通信網の拡散状況及び通信社への要請について

【事務局】NTT西日本鳥取支店によりますと、平成27年5月以降、本市域において

光回線によるインターネット接続サービスエリアの拡大は行っていないとのこと
です。したがって、鹿野町、用瀬町、佐治町の全域や鳥取地域、国府町、福部町、
青谷町の一部の地域については、NTTによる光回線サービスの提供がされていない
状況になっています。産業振興をはじめ、医療や教育など様々な分野において、
重要なインフラであると認識していますが、インターネット回線としても活用し
ている市所有のCATV網は、平成18年の整備以降、更新の時期が近づいている中、
光ファイバ化するには、約40億円程度が必要と試算しています。引き続き、国、
県への要請活動や事業者への働きかけを継続するとともに、採算性、費用対効果
をしっかりと分析した上で、本市としての情報通信手段の導入を、計画的に図って
いかなければならないと考えます。

【委員】難しいことはよく分かった。ITの時代だから相手も儲けがあつてのこ
とだが、出来ないと言っているのに要請もしていかないといけない。なんとか努力
していただければと思う。

委員提案

鹿野に企業が来ると思っていたが、土地も施設もないのだからどうしようかと
考えた時に観光客誘致を考えた。東京の鷲が峰会や大阪の関西鹿野会で応援して
もらったらと思うが、支所長そういう話はないか。

【事務局】それぞれ年1回出席しておりますが、ふるさと納税にはその用途を鹿
野地域の振興へという選択も可能です。出席の際には、お願いして沢山の方から
現在もご寄付いただいております、鹿野のイベント等の財源として優先的に充当して
いくような仕組みになっております。

【委員】そういう人にバスツアーで来てもらうようにしてもらえばよい。

【委員】鹿野に来てもらって鹿野を堪能してもらったら良い。観光の発展はリピ
ーターである。鹿野は食事もいいし、人もいい、そういう風にしたらいいと思う。

【事務局】以前ご要望もありましたが、この春試験的に城跡公園外堀にて、ラフ
ティングボートを使ったお花見遊覧船を運航する予定です。実施主体は鳥取県自
然体験塾で、要望があり支所としても今後に期待し、試験運行を許可する予定で
す。詳しくはこれからですが、概要といたしましては、コースは外堀一周の遊覧
約1kmで、所要時間は約30分、対象は小学3年以上（小さいお子様は保護者
同伴）定員は1回12人となる予定です。

その他

6 閉会